

商品名 ジヒドロコデインリン酸塩散1%「シオエ」 医薬品基本情報

薬効	2242 コデイン系製剤（家庭麻薬）	一般名	ジヒドロコデインリン酸塩散1%
英名	Dihydrocodeine phosphate	剤型	散
薬価	7.90	規格	1% 1g
メーカー	シオエ製薬	毒劇区分	(劇)

ジヒドロコデインリン酸塩散1%「シオエ」の効能・効果

呼吸器疾患の(鎮咳、鎮静)、疼痛時の鎮痛、激しい下痢症状の改善

ジヒドロコデインリン酸塩散1%「シオエ」の使用制限等

- 重篤な呼吸抑制、アデノイド切除術後の18歳未満、扁桃摘除術後の18歳未満、気管支喘息発作中、重篤な肝機能障害、慢性肺疾患に続発する心不全、痙攣状態、ストリキニーネ中毒、てんかん重積症、破傷風、急性アルコール中毒、類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、出血性大腸炎、重篤な細菌性下痢、18歳未満の重篤な肺疾患、18歳未満の肥満、18歳未満の閉塞性睡眠時無呼吸症候群、重篤な肺疾患を有する小児、肥満を有する小児、閉塞性睡眠時無呼吸症候群を有する小児
- 細菌性下痢
- 心機能障害、呼吸機能障害、脳器質的障害、ショック状態、代謝性アシドーシス、甲状腺機能低下症、粘液水腫、アジソン病、副腎皮質機能低下症、薬物依存の既往、尿道狭窄、前立腺肥大による排尿障害、尿路手術術後、器質的幽門狭窄、最近消化管手術を行った、麻痺性イレウス、痙攣の既往、胆石、胆嚢障害、重篤な炎症性腸疾患、腎機能障害、肝機能障害<重篤な肝機能障害を除く>、授乳中でCYP2D6の活性が過剰、遺伝的にCYP2D6の活性が過剰

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	禁止
-------	----

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	原則禁止
-------	------

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	注意
-------	----

ジヒドロコデインリン酸塩散1%「シオエ」の副作用等

- 依存性、あくび、くしゃみ、流涙、発汗、悪心、嘔吐、下痢、腹痛、散瞳、頭痛、不眠、不安、せん妄、振戦、全身筋肉痛、全身関節痛、呼吸促迫、退薬症候、息切れ、呼吸緩慢、不規則呼吸、呼吸異常、呼吸抑制、錯乱、無気肺、気管支痙攣、喉頭浮腫、麻痺性イレウス、中毒性巨大結腸
- 不整脈、血圧変動、顔面潮紅、眠気、めまい、視調節障害、発汗、悪心、嘔吐、便秘、過敏症、発疹、そう痒感、排尿障害

記載場所	重大な副作用
------	--------

頻度	頻度不明
----	------

記載場所	その他の副作用
------	---------

頻度	頻度不明
----	------

3. 重篤な呼吸抑制、脊髄刺激効果、薬物依存、呼吸抑制、頭蓋内圧上昇、昏睡、胆道痙攣、巨大結腸症、催奇形作用、退薬症候、多動、神経過敏、不眠、振戦、モルヒネ中毒、傾眠、哺乳困難、呼吸困難、死亡、意識不明、痙攣、錯乱、血圧低下、重篤な脱力感、重篤なめまい、嗜眠、心拍数減少、不安、縮瞳、皮膚冷感

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

ジヒドロコデインリン酸塩散1%「シオエ」の相互作用

1. 薬剤名等：中枢神経抑制剤

発現事象	呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静	投与条件	-
理由・原因	相加的に中枢神経抑制作用が増強	指示	注意

2. 薬剤名等：吸入麻酔剤

発現事象	呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静	投与条件	-
理由・原因	相加的に中枢神経抑制作用が増強	指示	注意

3. 薬剤名等：モノアミン酸化酵素阻害剤

発現事象	呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静	投与条件	-
理由・原因	相加的に中枢神経抑制作用が増強	指示	注意

4. 薬剤名等：三環系抗うつ剤

発現事象	呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静	投与条件	-
理由・原因	相加的に中枢神経抑制作用が増強	指示	注意

5. 薬剤名等： β -遮断剤

発現事象	呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静	投与条件	-
理由・原因	相加的に中枢神経抑制作用が増強	指示	注意

6. 薬剤名等：アルコール

発現事象	呼吸抑制、昏睡、低血圧、顕著な鎮静	投与条件	-
理由・原因	相加的に中枢神経抑制作用が増強	指示	注意

7. 薬剤名等：クマリン系抗凝血剤

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

8. 薬剤名等：抗コリン作動性薬剤

発現事象	尿貯留、麻痺性イレウスに至る重篤な便秘	投与条件	-
理由・原因	相加的に抗コリン作用が増強	指示	注意

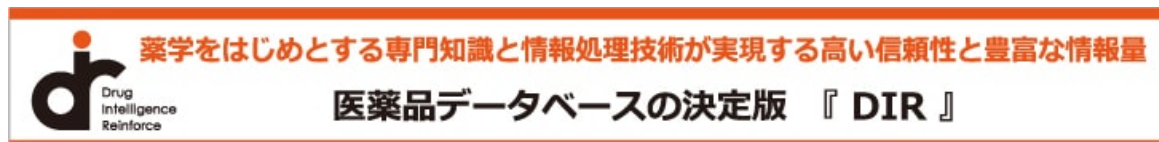
9. 薬剤名等：ナルメフェン塩酸塩水和物

発現事象 本剤の効果が減弱

投与条件 -

理由・原因 μ オピオイド受容体拮抗作用により、本剤の作用が競合的に阻害

指示 注意



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.